

PART 2

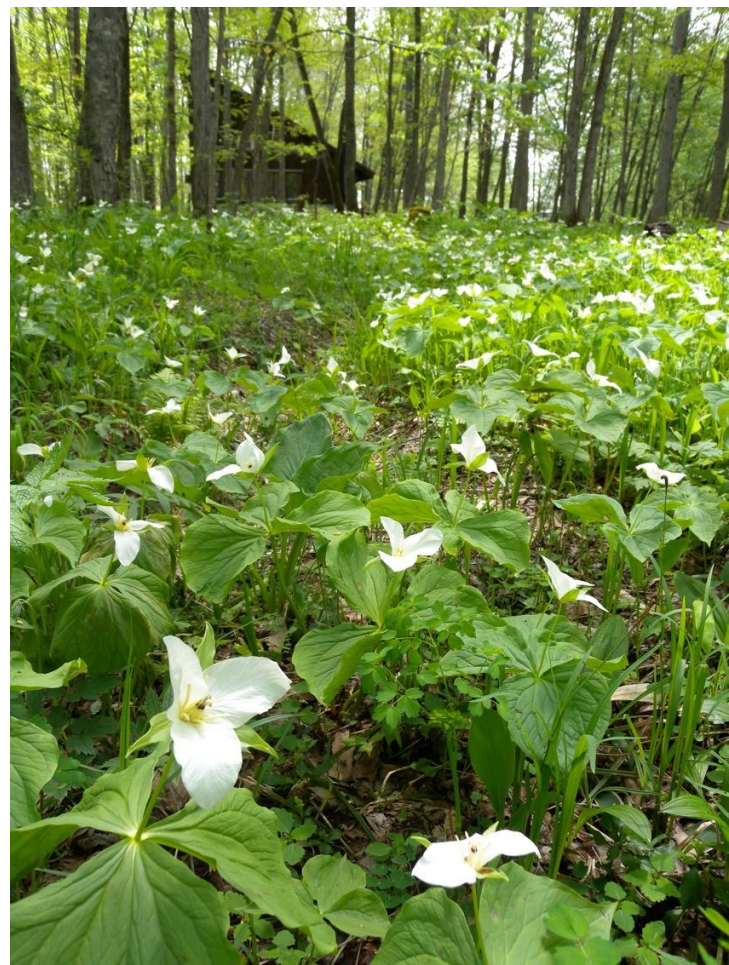
「美しい村」の一村民としての想いと姿勢

2022.5.12 中札内村景観まちづくり委員会 金澤 和彦

「美しい村」中札内村との出会いまで

- ・ 茨城県 常陸太田市で育つ 自然の中で遊ぶ
- ・ 地方の閉塞感 外の世界への憧れ
- ・ 東京芸術大学へ デザインを学ぶ
- ・ POLA パッケージデザインの仕事
- ・ 都会の暮らしは自然が足りない！
- ・ 緑を求めて 再び地方に暮らしたい思い
- ・ 新たな場所へ 北海道へ
- ・ 勤めた札幌は大都会だった
- ・ 好きな場所に住むため独立 十勝へ
- ・ 住む場所を探す 森の中に住んでみたい
- ・ 偶然の出会い 今17年目の「美しい」暮らしへ

自宅と庭 オオバナノエンレイソウ





季節の「景観」を愉しむ暮らし



「景観」は「ころ」

「景観」は人によってつくられる

「景」を「観る」

何を感じるかが「景観」

見えるものだけではない 背景にある物事

思い出 歴史 コミュニティ

連想 祈り 願い 馳せられる想い

生態系

景観を創っている人、守っている人の営み

物事は 心に基づき 心を主人とし

心によって作りだされる

法句経（ダンマ パダ：真理の言葉）より

地区の小さな神社 新年の家族での初参り



「景観」と「ころ」の相乗効果

写真：片山 祐二

「景観」は人によってつくられる

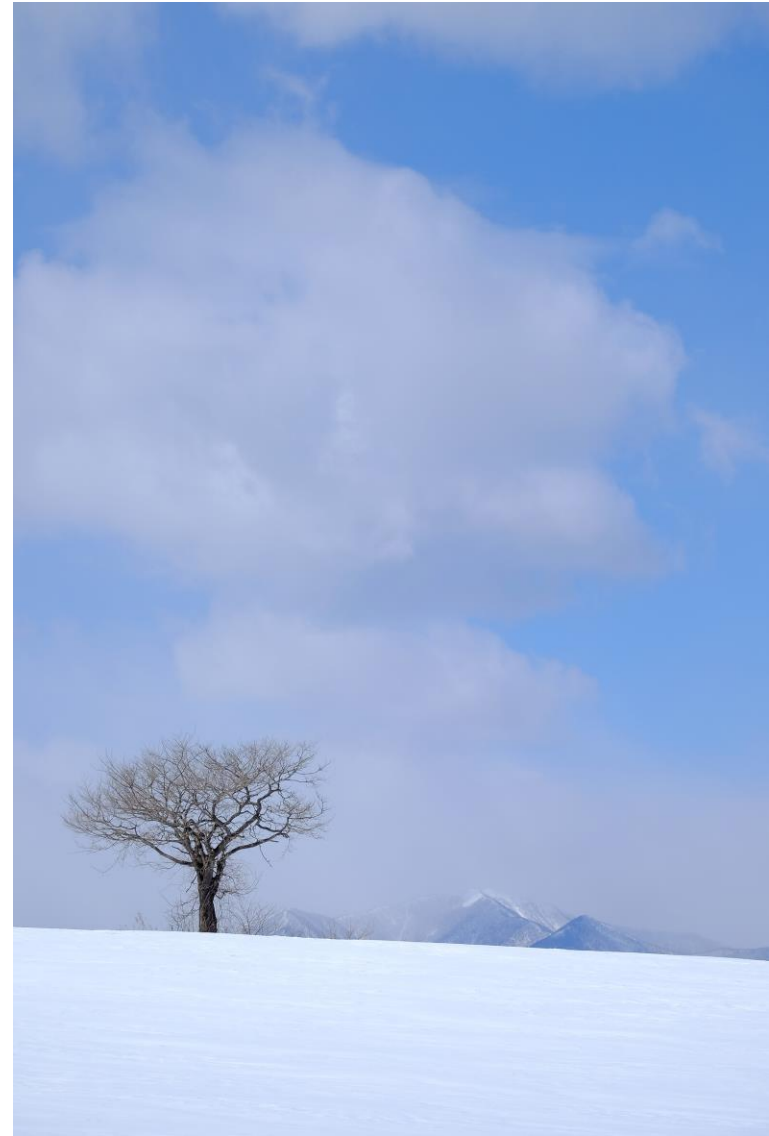


「ころ」は景観によってつくられる

人の心が美しいと、景観も美しくなる



景観を美しくすると、人の心も美しくなる



自分ができることから



実験として 2年間毎日 買い物や用事ついでに清掃活動中（車で：約4km）

→ 45ℓ のゴミ袋100数十袋／年間

- ・ 続けることで心境が変化

我慢 → 習慣化 無我の境地 地域への愛着 幸福感

- ・ 「特別なこと」から「あたりまえのこと」に

- ・ 地域の日常の営み：文化へ

〔京都の「門掃き（かどはき）」〕

- ・ たまにではなく、毎日行う

- ・ 放置しない

- ・ 見られていることを意識

※子供たちは見ている

- ・ おもてなしの心



「景観」を地域のブランドに

写真：片山 祐二

- ・ 「選ばれる村」になる
- ・ 住む人の魅力度、幸福度向上
住み続けたい 戻ってきたい 住んでみたい
- ・ 地域産品の付加価値向上
- ・ 起業、企業誘致⇔ 景観上のルールを守る
- ・ 景観の担い手を育成
経済的なしくみも大事だが
お金がなくても続ける「ところ」が重要



「美しい村」とは

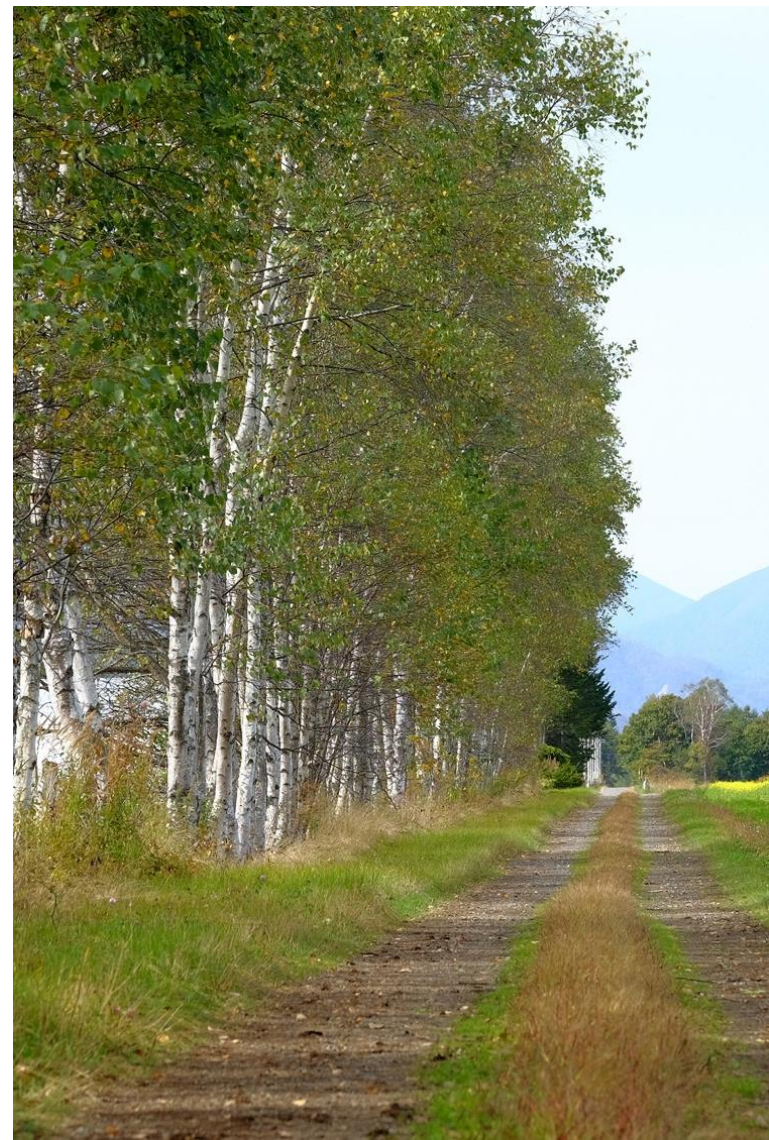
写真：片山 祐二

日々の営みそのものの中に「美しい村」があり
「美しい村」の中に日々の営みがある

完成も終わりもなく
日々の営みそのものが
「美しい村」

修行そのものの中に悟りがあり
悟りの中に修行がある

(禅宗)



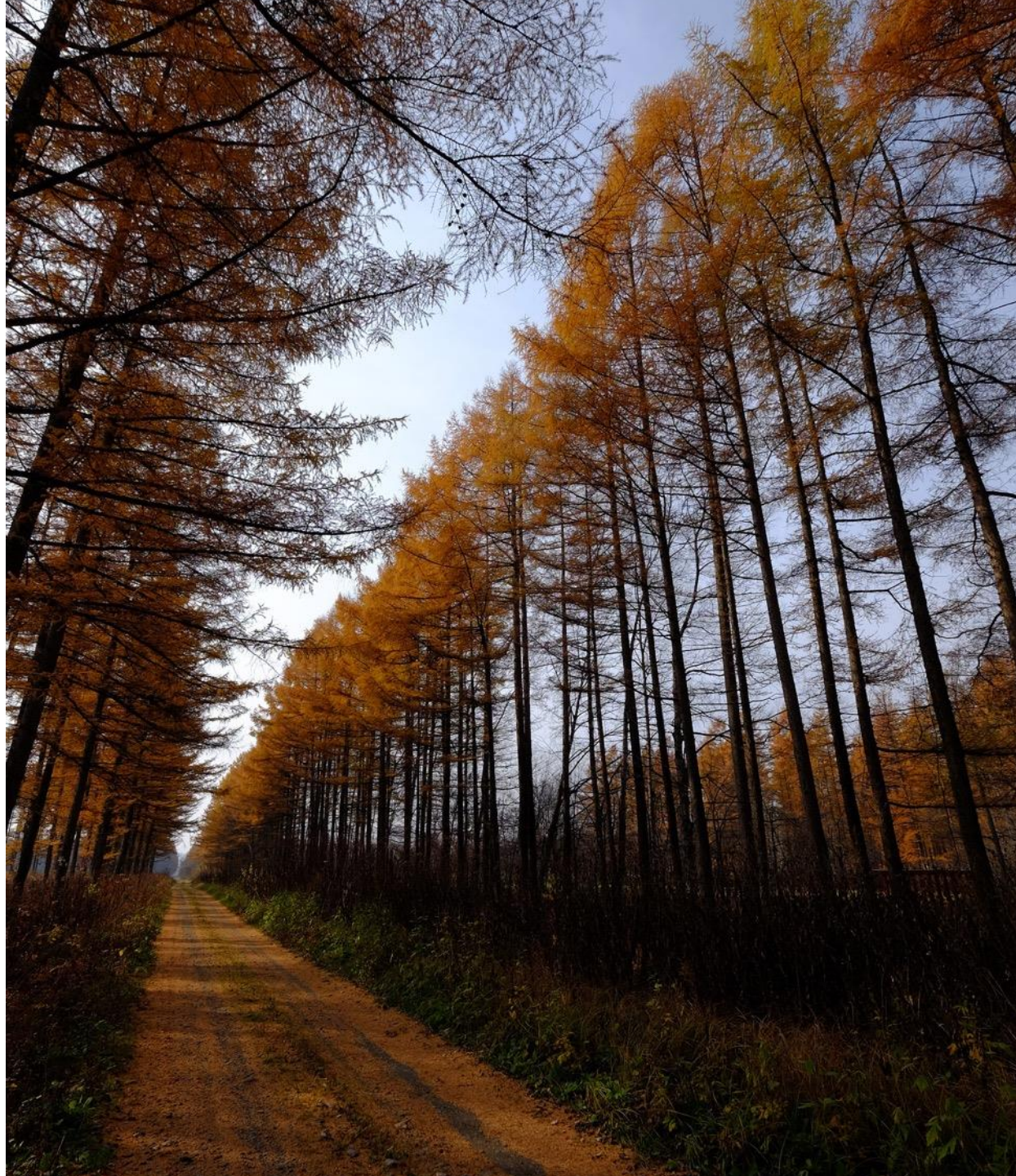




















自分が尊敬する人：こんな人になりたい

日々 美しい景観づくりに励み

周りの人とのコミュニケーションを大切にする

毎日 街の掃除を欠かさず

道ゆくひとへの挨拶を欠かさない

こういう人に 自分になりたい

赤塚不二夫 作「天才バカボン」

レレレのおじさん



ご静聴ありがとうございました